

大阪 入荷バラつきも価格対応に慎重姿勢

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況はこう着気配。今後の入荷次第で値上げの可能性が残りつつ、海外市場が軟化気配で進んでいるため、電炉側は様子見姿勢を崩してこない。大阪H2実勢は4万1000~4万1500円、一部上値4万2000円見当で推移している。

地区内では先週末に一部電炉の上げ改定で実勢安値が切り上がったことにより、電炉入荷にバラつきが生じている。また、市中業者筋では電炉買値に比べて有利な湾岸や姫路向けにコンスタントに出荷を向けていることもあり、現状では電炉入荷が劇的に上振れる

ような展開は考えにくい。今後の入荷が不安定さを増してくれば、電炉筋によっては価格対応を迫られる可能性が残り、市況は堅調気配を維持している。

しかし、電炉入荷に停滞感が見られるが、今月生産量の低迷により、在庫余力を抱え持つところが多く、需給は目立ってタイト化に振れている環境にない。また、海外市場の軟調気配を理由に、電炉側は慎重な姿勢を強めているため、「入荷減の影響は限られている。実勢圏内の小動きはあったとしても、上値の重たさは変わらない」(商社)と見る向きが多い。

エムエム建材、能登半島で被災地ボランティア活動を実施

(石川) エムエム建材(本社=東京都港区、温井健夫社長)は11月23~24日、能登半島の被災地・石川県輪島市でボランティア活動を実施した。認定NPO法人ETICのサポートのもと、東京本社および支社・支店



名舟町の活動に参加したメンバー

から5名の社員が参加し、他企業や団体のメンバーとともに支援活動を行った。

輪島市名舟町と同市門前町の被災者宅では、家財道具の移動や土砂の除去、床面整備などを実施。作業の

合間には地元や近隣の人との対話を通じて、漁業復活の困難さなど被災地の現状について理解を深めたという。



門前町での作業のようす

2日間の活動を終えて「ボランティア参加者は、

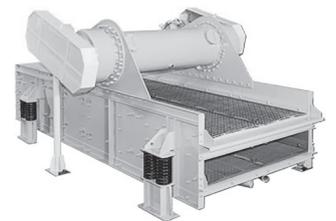
被災地支援だけでなく、地域の人のふれ合いを通じて被災者が直面する課題や支援が持つ心理的な効果、継続的な支援の必要性を実感できた」(同社)とし、今後も支援活動を実施していく予定だ。

近畿工業「神戸発・優れた技術」の認定を更新

(兵庫) 近畿工業(本社=兵庫県神戸市中央区、和田知樹社長)はこのほど、神戸市産業振興財団主催による「神戸発・優れた技術」の認定を更新した。

「神戸発・優れた技術」は神戸市産業振興財団が1997年度から国内トップレベルにある優れた技術や製品づくりを行う神戸市内の企業を認定し、全国への情報発信のほか、補助金や商談会の情報提供、販路開拓

などを様々な方法で支援する。今年度からは広報・PRや補助金加点などの支援策を拡充し、認定企業の発展をより強力にサポートしている。



省エネ型振動ふるい機

近畿工業では1953年の設立以来、これまで80種以上の環境・リサイクル機器を開発している。その中でも、砕石場やアスファルト製造プラント、石炭火力発電所などで石や石炭を大量かつ効率良くふるい分ける【振動ふるい】を2万台以上もの販売実績を持つほか、自治体が運営するクリーンセンターなどで大型可燃ごみの処理や金属スクラップ業界でも前処理機として導入実績が増加傾向にある



二軸剪断式破碎机「SHRED KING」

二軸剪断式破碎机は販売台数2,000台以上の国内トップクラスを誇る。同社ではそうした取り組みや販売実績が評価され、2006年度に初回認定を受けている。

総合メタルリサイクル企業

本社第二工場でお困りの際はぜひ一度ご連絡ください。

ギロチンダストの受入れ開始!

製鋼原料全般
ギロチンシャー加工



萬 日鉄萬金属株式会社

代表取締役社長 木村啓孝

本社第二工場 滋賀県愛知郡愛荘町長野1414-1
TEL0749-49-4335 FAX0749-49-4330